

【中学生議会 市長答弁様式1】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	上条藍悠議員 向山恵介議員
発言順(通し番号)	NO : 6, 7	所 管 課 ・ 室 名	観光交流促進課

質 問 事 項	<p>【上条】 写真やイラストの入った看板を駅前・IC前に設置し、迷わないようにする事の提案。 また、案内所をIC前や観光スポットに配置し、次の目的地や電車の時刻、渋滞の緩和につなげる。 ①渋滞緩和や道に迷うことの減少 ②①により多くの場所をじっくり観光でき、安曇野の良さを知ってもらえる ③帰った後、また来たいと思ってもらえ、さらには口コミ等で良さを広げてもらえて誘客できる効果が期待できる</p> <p>【向山】 自転車による観光客の増加に伴う、自転車道の設置やカーブミラーや自転車置場の設置について</p>
---------	--

【市長答弁】

関連がありますので上条議員、向山（むかいやま）議員のご質問にお答えします。

安曇野市は、雄大な北アルプスの自然のもと、豊富な湧水、美しい農村景観、豊かな歴史・文化など様々な地域資源があります。

観光客の皆さんに気持ち良く楽しんでいただくためには、判りやすい観光案内をしていくことが大切であり、今後も、国内外の大勢の皆様にお越しいただけるよう、外国語の標記や、安曇野市のロゴマークを活用した観光案内看板やパンフレットの充実、外国の方々への情報提

供、フェイスブックなどを活用した多様な情報発信やWi-Fi（ワイファイ）の整備、自転車の活用など、市民や関係事業者の皆様と一緒に、受け入れ態勢を充実させていきたいと思いをします。

上条議員のご提案のとおり、訪れていただいた皆さんに1人でも多く安曇野ファンになっていただくことは、観光振興を図る上で重要であると考えます。

また、向山議員ご提案のとおり、時間をかけてゆっくり本市の豊かな自然景観を楽しんでいただくため、市内には拾ヶ堰沿いに「あづみ野やまびこ自転車道」があり、豊かな自然環境の中でサイクリングを楽しむことができますので、こちらもPRしていきたいと思いをします。

安曇野市には昨年 481 万 7 千人程の観光客の皆様にお越しいただいております。観光客の増加は、観光産業のみならず、市内の地域経済の活性化に大きく寄与するものであります。

市民の一人一人や、皆さんも就職や大学生へ進学され地元を離れても、安曇野市の宣伝マンとして、安曇野市の魅力を一人でも多くの方に、発信していただきたいと思いをします。

【中学生議会 市長答弁様式1】

質 問 区 分	代表・一般	議 員 名	濱田清空議員
発言順(通し番号)	NO:8	所管課・室名	商工労政課

質 問 事 項	工業について
具 体 的 な 内 容	企業の誘致について

【市長答弁】

続いて、濱田(はまだ)議員のご質問にお答えします。

近年、安い原材料の入手と労働力を求めて企業が海外進出をするようになり、国内産業の空洞化も進み厳しい事業環境下ですが、市内企業においては、プロジェクター、3D(スリーディー)・スマートグラス、高減速装置、パソコン、スマホのノイズ除去フィルターなどの開発、製造で高い技術力を有し、世界シェアナンバーワンの企業もあります。

安曇野市の製造品出荷額等は、平成23年までは県内1位でしたが、集計方法の変更や大手企業の撤退などで、直近の平成25年数値では、県内第4位となっており、従業員数、製造品出荷額は若干増加したものの、事業所数は減少傾向が続いております。

企業誘致は、新たな雇用を生み出す施策として、現在市が取り組んでいます「地方創生」の重要な取組みとして位置づけておりますが、全国的な課題であり、自治体間の厳しい競争状態となっております。

そこで、市に事業所を置いていただく支援策や環境の整備が大きなポイントであり、他の自治体の取り組みとの差別化を図るとともに、立地いただくためのメリットがなければいけません。

そのためには、安曇野の地域資源の活用や清らかなイメージを企業のイメージ戦略に活用していただくことが必要であり、加えて、若者や女性にとって魅力あるまちづくりが、工業振興のための担い手の観点からも重要な施策であると考えております。

また、新たな産業団地の造成については、市が保有する産業団地の残区画数が1区画となっており、法的な課題もありますが、実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

【中学生議会 市長答弁様式1】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	大山至議員
発言順(通し番号)	NO:9	所 管 課 ・ 室 名	農林部農政課

質 問 事 項	<p>最近お菓子に安曇野産わさびが使用されているが、売り上げに影響があるか。</p> <p>全国シェアでは静岡県産に後れを取っている状況であるが、安曇野産の良さをPRする必要がある。一案としてわさびの抗酸化作用に着目した美容関係の商品を開発し、PRすることを提案するが、どうか。</p>
---------	---

【市長答弁】

続いて、大山議員のご質問にお答えします。

農林水産省の統計によりますと、わさびの生産量は長野県が全国一位であり、また、長野県産わさびの約9割が安曇野市で生産されています。

しかしながら、議員ご指摘の通り栽培面積では静岡県が全国の50%以上を占め、全国一位です。また市場においても静岡県産のわさびは評価が高く、安曇野産よりも高値で取引されています。

これは、静岡県産の方が、一定の品質のわさびが安定的に供給されているためです。

一方で安曇野では自力での市場出荷が困難な小規模農家が多く、価格の低い加工用への出荷や問屋への安値出荷が多い状況があります。また、湧水を活用した栽培を行っていることから、湧水の量によって畑ごとの品質の差が大きくなっています。

また、静岡県と安曇野では地域特性の違いから栽培方法が異なり、静岡県産が形が良い傾向があります。この

ことも価格差の要因となっています。

しかし、味は決して引けを取っておらず、一昨年の全国わさび品評会では味が高く評価され、安曇野産のわさびが最高賞である農林水産大臣賞を受賞しました。

市としては、品質向上に寄与するため、全国わさび品評会参加への支援や、視察研修事業実施への支援を行っているほか、長野県の品評会を農林業祭りとタイアップさせることで安曇野産わさびを市内外へPRしています。

【中学生議会 市長答弁様式1】

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	上田有人議員
発言順(通し番号)	NO:10	所 管 課 ・ 室 名	農林部農政課

質 問 事 項	<p>農家が年々減少傾向にある。その要因として農業を継がないこと、農業所得が少ないと感じている。</p> <p>対策として、農業のメリットや仕事内容を掲載した「パンフレットの作成配布でPR」することや、農業に興味を持った人向けに「農業体験」ができる場所等の提供があれば、農産物量の増大、荒廃農地の解消による景観の保全により観光客も増えるのではないか。</p>
---------	---

【市長答弁】

続いて、上田議員のご質問にお答えします。

農林水産省「世界農林業センサス」の統計データでは、安曇野市の農家数は、2000年に6,986戸、2005年に6,581戸、2010年に5,916戸と、年々1.5%位ずつ減少傾向にあります。

これは安曇野市だけに限ったことではなく、全国的に同じような状況であることは、議員の皆さんも、学校の社会科の授業やテレビ等の報道により見聞きしていて、ご承知のことと思います。

年々農家数が減っている要因として「農業所得が少ない」というイメージがあることも一つではないかと考えております。

しかし、市内の生産農家も安定した経営をされている農家も多くあり、農業で暮らしを立てることに誇りを持っている農家も多くあります。

議員の提案の、農業のメリットや仕事内容を掲載した「パンフレットの作成配布やPR」、そして農業に興味を持った人向けに「農業体験」ができる場所等の提供は重要と考えますし、加えて連日報道されております、TPP（環太平洋連携協定）の情報も交え、市民に分かり易く周知して行くことが必要だと考えております。